

# ふゆやすみにおすすめのほん

2020年12月和光市図書館



わこうしとしょかん しょくいん えら ふゆやす よ ほん しょうかい  
和光市図書館の職員が選んだ「冬休みに読んでほしい本」を紹介します。

ようじ しょうがく ねんせい ねんせい ねんせい よ  
幼児むけ、小学1、2年生むけ、3、4年生むけ、5、6年生むけです。ぜひ読んでみてください。

よ ほん かしだしちゆう よやく としよかん かうん たーひと ぎ  
読みたい本が貸出中のときは予約できます。くわしくは、図書館のカウンターの人に聞いてください。



## ようじ 幼児むけ



### 『はんぶんこ』

ただ ひろし さく しょ ねんぱつこう ぶんるい  
多田 ヒロシ 作 こぐま社 2020年発行 分類 Eアカ

いろいろな どうぶつたちが はんぶんこ しているよ。はんぶんこ、はんぶんこ、わんぶんこ・・・。

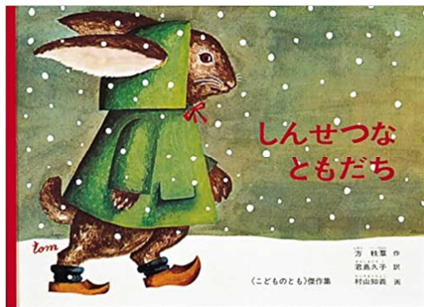
あれれ はんぶんこが うまく いかなくて、 おおきくなったり ちいさくなったり することも あるみたい。でも はんぶんこって とっても たのしい！

### 『しんせつなともだち』

ふ あん いーちゅん さく きみしま ひさこ やく むらやま ともよし が  
ファン・イーチュン 作 君島 久子 訳 村山 知義 画

ふくいんかんしょてん ねんぱつこう ぶんるい  
福音館書店 2007年発行 分類 Eムラ

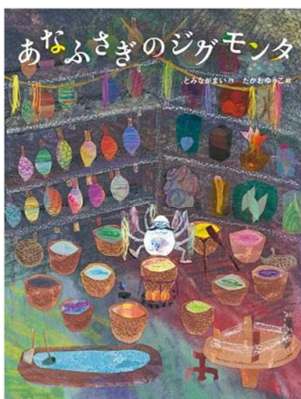
ふゆになると、 たべるものが なくなってしまった こうさぎは たべものをさがしに でかけます。かぶを ふたつみつけた こうさぎは、ともだちのろばに ひとつ わけてあげることにしました。いえにかえって、かぶをみつけた ろばはともだちの こやぎのことを かんがえます。ともだちへの やさしい きもちが つたわってくる ほんです。



### 『あなふさぎのジグモンタ』

とみなが まい さく たかお ゆうこ 絵 ひさかたチャイルド  
2020年発行 分類 Eアカ

くもの ジグモンタは、 ようぶくに あいてしまった あなを ふさぐのが しごとです。でも あるひ 「おふるなんて、ぜったいに いや！」といわれ、 じぶんの しごとが いやになって しまいます。ふるいものより あたらしいもののほうが ほんとうに いいのかな？ ものを ながくつかうのって すてきだなと おもえる おはなしです。





### 『きょうはかせでおやすみ』

パトリシア・マクラクラン ぶん 小宮 由 やく ウィリアム・ペン・テュボア え  
だいにっほんとしょ ねんはつこう ぶんるい 分類 933 マ  
大日本図書 2016年発行

かせをひいて お休みしているエミリーは、 パパに いろいろ  
おねがいをします。 エミリーのかみの毛を むすんだり、 スープを  
作ってくれたり、 おはなしを してあげたり、 パパは ねがいを  
かなえてくれます。 エミリーは かせをひいているのに、 なんだか  
とても 楽しそうな1日です。

さて、 パパがずっとさがしていた さがしものは、 見つかったの  
でしょうか？



### 『だんだんできてくる 3 トンネル』

かじまけんせつかぶしきがいしゃ かんしゅう むしやのこうじ あきこ え かん  
鹿島建設株式会社 監修 武者小路 晶子 絵 フレーベル館  
ねんはつこう ぶんるい 分類 510  
2020年発行

町のなかの いろいろなところにある「トンネル」。 どのように  
作るか していますか？ トンネルをつくる場所が きまったら、  
木を切ったり、 電気をひいたり、 いろいろなじゅんびを  
するところから はじめるのです。 トンネルの入り口に立って、 ト  
ンネルが 少しずつ出来ていくようすを 見ているような きもちに  
なれる本です。「だんだんできてくる」シリーズは、「道路」「マ  
ンション」「橋」も あります。 ぜひ 読んでみてください。



### 『まほうのバス』

なかしま かすこ さく えだ ななえ え きん ほししゃ  
中島 和子 作 江田 ななえ 絵 金の星社 2016年発行 分類 913  
ねんはつこう ぶんるい

オレンジ色の古いバスは、 今日が さいごのお仕事でした。  
古くなったバスは 引退しなければ いけないのです。 これからは  
時間にしばられないで どこへ行っても 良いのです。 バスが  
楽しく走っていると 山道で こぎつねに会いました。 バスが  
こぎつねを乗せて、 いろいろな動物たちも乗せて 坂道を登っていく  
と バスのスピードが だんだん遅く なっていきます。 いったい  
何が起こったのでしょうか？ 満月の夜に 山道を走る 古いバスの  
ふしぎなお話を 楽しんでください。





しょうがく ねんせい  
小学3, 4年生むけ

『トラブル旅行社 ～砂漠のフルーツ狩りツアー～』

ひろしま れいこ ぶん ねんはつこう ぶんるい  
廣嶋 玲子 文 コマツ シンヤ 絵 金の星社 2020年発行 分類 913

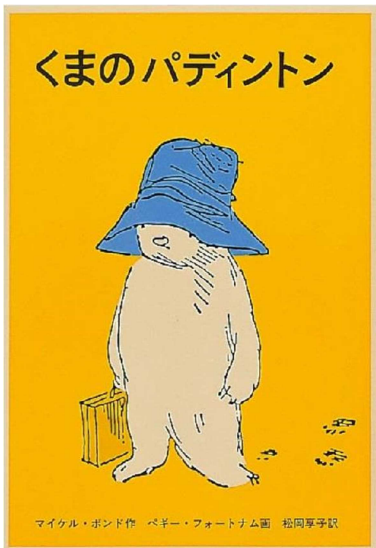


のどがカラカラで、冷蔵庫の中にあった見たことのないジュースを飲んでしまった主人公の大悟。飲んだ後に「勝手に飲まないように」というお母さんからのメモを見つけ、あせった大悟は、同じジュースを探しに町に出かけます。でも、どこにも売っていません。そんな時に見つけた「トラブル旅行社」という看板の店では、どうやら問題を解決できる旅を提供してくれるらしいのですが…。

さて、大悟を待ち受けるのはどんな旅でしょうか？そこで無事にジュースを見つけれられるのでしょうか？不思議な冒険の旅のはじまりです！

『くまのパティントン』

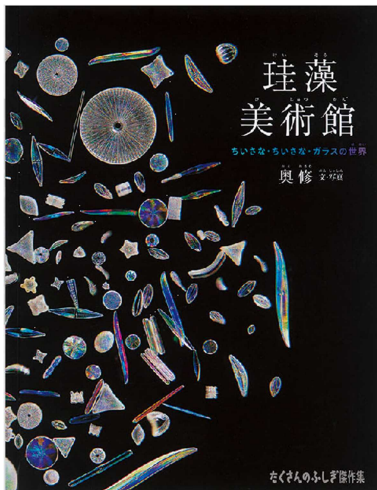
マイケル・ボンド 作 ペギー・フォートナム 画  
まつおか きょうこ やく ねんはつこう ぶんるい  
松岡 享子 訳 1967年発行 分類 933 ポ



駅でひろわれて、ブラウン一家と一緒にくらすことになったクマの「パティントン」。パティントンが来てからというもの、クリームとジャムでネトネトになったり、家を水びたしにしたり、荷物をひっくり返したり・・・とにかく毎日大さわぎ。それでもなぜかにくめない、かわいらしいパティントンと、それをやさしく見守るブラウン一家の、心温まる楽しいお話です。シリーズのほかの本も、ぜひ読んでみてください。

『珪藻美術館 ちいさな・ちいさな・ガラスの世界』

おおく おさむ ぶん しゃしん ぶんくわんかんしよてん ねんはつこう ぶんるい  
奥 修 文・写真 福音館書店 2020年発行 分類 473



みなさんは「ガラス」と聞いて、何を思いうかべますか？コップやまどガラスなどを思いうかべる人が多いと思います。

奥修さんは、表紙の写真のような美しいガラス作品を作っています。でも作品づくりに使うのは、みんなが知っているガラスとは少しちがいます。奥さんが使うガラスは、「珪藻」とよばれる生きものの体の一部で、その大きさは何と0.1ミリ以下！

そんな「珪藻」をどのように集め、どうやって作品をつくっているのでしょうか？ぜひキラキラと美しい「珪藻」の世界と、明かされる作品作りのひみつを楽しんでください。

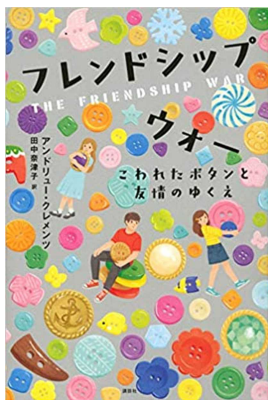


さいご たび  
『おじいちゃんとの最後の旅』

ウルフ・スタルク 作 キティ・クローザー 絵 菱木 晃子 訳  
徳間書店 2020年発行 分類 949 ス

ぼくのおじいちゃんは病院に入院している。パパに言わせると、病気になるえ、怒りっぽくて、頑固で、いかれてるんだって。パパとおじいちゃんは分かりあえないみたいだけど、ぼくはそんな面倒なおじいちゃんが好きだ。僕の名前はおじいちゃんからもらったんだよ。

ある日、ぼくとおじいちゃんは病院から脱出する計画をたてた。もちろん、家族にも病院にもヒミツだ。おじいちゃんが、亡くなったおばあちゃんと住んでいた、島にある家に戻りたいという願いをかなえるために…。作者が、大好きだったおじいちゃんとの思い出をもとに書いた1冊です。



『フレンドシップウォー ~こわれたボタンと友情のゆくえ~』

アンドリュー・クレメンツ 著 田中 奈津子 訳 講談社 2020年発行 分類 933 ク

いま、学校ではボタンが大ブーム！いろいろな色や形をしたボタンを家から持ってきて友だち同士で見せあって交換したり、ベルトにボタンの束をぶら下げている子もいる。しかけたのは私。おじいちゃんが買った廃工場の中にあつたボタンの箱（なんと27箱！）をもらって学校に持っていったところから始まったんだ。

最初のうちは楽しかったんだけど、ボタンのことで親友のエリーとケンカしたり、校長先生から学校にボタンを持ってくることを禁止されたりと、大ごとになってき

ちゃった。

学校を巻きこんだボタンをめぐる大騒動は、とんでもない事件を引きおこすのですが、どんな結末を迎えることになるのでしょうか。



おう てがみ じょう げ  
『王への手紙 上・下』

トンケ・ドラフト 作 西村 由美 訳 岩波書店 2005年発行 分類 949 ド

騎士叙任式の前夜、小さな礼拝堂で最後の試練に耐えていた主人公ティウリは「ドアを開けよ！」という小さな声を聞いた。声の主である老人から預かったのは、大山脈を隔てた隣国ウナーヴェンの王への手紙。この手紙の重要さは、はかりしれないと老人は言う。ティウリは最後の試練を抜け出してウナーヴェンを目指すこととなったが、手紙を奪おうとする正体不明の追手に命を狙われたり、指名手配されていて足止めを食うなど様ざまな試練にあう。誰が味方で誰が敵なのか、そもそも誰に

追われているのか、この手紙には何が書かれているのか、そして無事にウナーヴェンに辿り着くことはできるのか…。

緊張感が漂う中に、行く先々で出会う人たちとの温かい交流があり、ピアックという、後に親友となる友に出会い、旅を続ける中で成長するふたりの、ゆきてかえり冒険小説です。1963年にオランダで、1年間に1作品のみに与えられる児童文学賞（「金の石筆賞」の前身）を受賞し、2004年には、過去50年間に「金の石筆賞」を受賞した50作品すべての中から第1位に選ばれたベストセラーです。